

ふゆにおすすめの本

もうすぐおしょうがつ【福音館書店】

(作)西村繁男

久しぶりの祖父母の家。障子はりにお餅つき、大晦日の買い出しにお節づくり。終い湯に入って年越しそばを食べ、除夜の鐘をつきに出かけます。新しい年を心待ちにする家族の様子が、楽しく描かれた絵本です。

ホテルの川【BL出版】

(作)おおつきひとみ (絵)ひろいのりこ

12年前の冬、僕と親友の直樹は一日違いで生まれた。今年は日付がかわる頃に家をぬけ出し、2人だけで誕生会を祝おうって決めてる。一年で一番楽しい日のはずだった...

雪の上のなぞのあしあと【福音館書店】

(作・絵)あべ弘士

飼育員の僕は宿直が大好き。夜の動物達の様子を見回り、そして、今までに見たことのない大きな足跡を発見！！旭山動物園で起こった「雪の上の謎の足跡」事件のドキュメンタリー絵本です。

きらきら【アリス館】(写真絵本)

(文)谷川俊太郎 (写真)吉田六郎

見たことがありますか？大きな物なら5～6ミリにもなるんです。雪の結晶。その仕組みを世界で最初に解き明かした中谷宇吉郎博士との出会いによって、この本は生まれました。「きれいだね てんからおちてきたほしみたい」

リスとはじめての雪【コンセル】

(作・絵)ゼバスティアン・メッセンモーザー (訳)松永美穂

冬眠するリスとハリネズミとクマは、雪を見たことはありません。「白くて、湿っぽくて、冷たくて、柔らかい」ヤギの話聞いて、それぞれに冬の使者を探すのですが...話を聞くと、経験するのでは大違い！！

ハリネズミと金貨【借成社】

(作)ウラジミール・オルロフ

(絵)ヴァレンチン・オリシヴァング (訳)田中潔

ハリネズミは年をとり、冬ごもりの支度が大変で、拾った金貨を使おうと考えますが...使わずに、拾った場所に金貨を戻します。人と人が寄り添って生きる意味を思い出させてくれる、ロシアのお話です。

ふゆめがっしょうだん【福音館書店】(写真絵本)

(作)長新太 (写真)富成忠夫／茂木透

冬の「木の芽」。よ～く見ると、うさぎさんがいたりコアラ君がいたり...冬芽って動物達の顔に見えるんだね。「パツパツパツパツ」ほらコーラスがきこえてくるよ。ただの科学絵本にあらず！！

